

.....編集後記.....

◇今月号は地下空間利用と題し、地下空間の利用に関する基礎的な研究や地下空間の開発構想と利用例を特集しました。工業技術院による官民連帯共同研究「地下空間におけるA・E・地圧・岩盤特性の精密評価技術に関する研究」は、地質調査所・資源環境技術総合研究所・計量研究所、鹿島建設株式会社・清水建設株式会社・大成建設株式会社が密接に協力し合い、1988年から実施されています。今年には本研究の最終年度に当たり、岩手県久慈市などに建設中の石油地下備蓄基地で既に実施した調査研究の成果を、研究担当者に紹介していただきました。

◇従来、石油地下備蓄などを目的とした地下空間の構築地点には、硬岩などからなる地盤条件の良い地域が選ばれてきました。本号で紹介されているヨーロッパなどの大陸では、平野の比較的浅所に岩盤が広がり、その岩盤内に大規模な地下空間を構築することが可能です。一方、わが国の大都市のある平野では岩盤は深く潜り、平野の地下は、主に未固結や半固結の軟かい地盤から構成されています。近年、大都市への機能集中によるより一層の都市化の進展にともない、大都市の土地利用は極限に近づきつつあり、これまで利用されていなかった大都市の大深度地下空間の開発研究が関係方面から切望されているのが現状です。本号の後半では、都市域の大深度地下空間の研究開発状況及び開発構想を建設会社の担当者に紹介していただきました。

◇本特集号の原稿依頼と取りまとめは、地質調査所の官民連帯共同研究グループ長の楠瀬勤一郎氏、編集作業の一部は長秋雄氏にお願いしました。また、表紙・口絵写真の提供を承認下さった日本地下石油備蓄株式会社を始めとする関係者の皆様にお礼申し上げます。

◇古くから炭田地帯では、大深度の地下空間が石炭の採掘によって形成されてきました。本号最後には、北海道にある夕張市石炭博物館を紹介しました。

.....副委員長 磯部一洋記.....

地質ニュース編集委員会

委員長：佐藤社郎
副委員長：佐藤興平・磯部一洋
幹事：宮崎光旗・尾上亨
委員：三田直樹・岡村行信・鹿野和彦・山口靖・金沢康夫・佐藤岱生・松本則夫・滝沢文教・松浦浩久・渡部芳夫
事務局：総務部業務課広報係（山口秀樹・斎藤賢二）
〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会
事務局 Tel. 0298-54-3520
Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

1991年11月号

原稿募集中！

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙（25×18字）4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ（スライド）を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ（表紙は六切）のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース	第447号 1991年11月号
	定価 ¥700 千実費
1991年11月1日発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林久雄
発行所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
印刷	奥村印刷株式会社

©1991 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。